

第631回

## I B C 番組審議会 議事録

— 議 題 —

I B C 報道特別番組

庁舎は語る～大槌町 あの時なにがあったか～

平成30年6月14日（木）

(株) I B C 岩手放送

## 第631回IBC番組審議会

1. 開催日程 平成30年6月14日(木) 午前11時

2. 開催場所 IBCデジタルセンター3階Dホール

3. 委員の出席 委員総数 10名

出席委員 8名

出席委員の氏名

委員長 田代 高章

副委員長 熊谷 志衣子

委員 村井 康典 宮 順子

澤口 たまみ 龍澤 尚孝

栗田 均 小松 務

会社側の出席

鎌田 英樹 代表取締役社長

武田 敏哉 取締役放送本部長

黒澤 秀之 取締役営業本部長

中島 勝志 報道局長

眞下 卓也 編成局長

中村 好子 報道部長

江幡 平三郎 アナウンス部部长

(番組担当ディレクター)

事務局

若槻 修 番組審議会事務局長

4. 議題 IBC報道特別番組

庁舎は語る～大槌町 あの時なにがあったか～

## 5. 議事の概要

### <委員の主な発言>

- 丁寧な取材をして、ジャーナリズム的な観点で問題提起をされたと思う。町側がなぜあの時、ああいう行動をとったのかということに、恐らく皆が疑問に思っているまま、庁舎の解体がいいか悪いかという所に問題が至ってしまっている。それに対してやるせなく思っている方々が、声を大にして言えない状況もあるのかなということ、番組を通して感じた。
- とても難しい問題に取り組んで番組を作ったと思う。町とか政治であるとか行政であるとか、大きい所でこうしますと決断が出てしまったときに、それに異を唱える、違和感を覚える、小さな声というのはたくさんある。その小さな声が今とても外に出にくくなっている感じがある。それをきちんと拾う努力をしたことに敬意を表したい。
- すごく見ごたえのある番組で、ぜひ多くの方に見て頂きたい。町の立場、犠牲者、専門家の話とか、皆さん本音を語っていたのがいい点だと思う。町長が単独インタビューを断ったというが、なかなか本音は言えないかもしれないが、これだけ町を二分していろいろ語られている中、町長としての今の声を聞きたかった。
- この放送を見て第一に感じたことは、なぜ、どうしてという遺族の気持ちが、ますます悔しいというか、そういう気持ちが大きくなっていったのではないかと感じた。年月が経つと忘れられることが多い。形あるものがなくなるとますますそういうことがなくなってしまうので、これからも取り上げて放送して行って、形がなくてもみんなに訴える放送をしていただきたいと感じた。とてもいい番組だった。
- 7年前に大津波で大きな犠牲を出したことを踏まえて、現在の町、地域の防災対策は万全なのか、町民の防災意識は高まったのかなど、現在そこに暮らす人々の安全が確保されているかどうかを、この時期であれば検証して放送してほしかった。そういったことが番組の最後のテロップにある「二度とこのような災禍が繰り返されぬようこの番組を制作しました」ということにつながっていくのかなと感じた。